

特別国民体育大会バドミントン競技新潟県候補選手選考会

競技・審判上の注意

本大会は、令和5年度(公財)日本バドミントン協会競技規則の他、同大会運営規程および同公認審判員規程により行います。

競技規則関係

1. マッチ(試合)のスコアリングは正規ポイントで行い、進行は流し込み方式とします。
2. マッチ(試合)を連続して行う場合のインターバルは、10分間以上の間隔を空けることとします。
3. 各マッチ(試合)の前に3分間の練習を認めます。なお、シングルスの場合は、対戦相手と練習してください。
4. マッチ(試合)中にコートを離れる時(水分補給、汗拭き、靴ひもの縛り直し、ラケットの交換など)は、必ず主審の許可(インターバル時を除く)を必要とします。なお、以下のことに注意してください。
 - 水分補給のための容器は、倒れてもこぼれないものを使用し、主審横の指定した入れ物(各自のバッグ内)に入れてください。
 - 体力の回復措置を図っているとおぼしき行為は謹んでください。
 - 氷のうの使用はインターバル中のみとし、フロア内ではバックの中に保管してください。
5. 次のような違反行為に対しては、厳正に対処をします。
 - 息切れなど体力回復などの遅延に関わる行為。
 - インプレー中に指示や助言(コーチング)をする行為。
 - 主審の許可なしにコートを離れる行為。
 - 故意にシャトルへ手を加えたり、破損したりする行為。
 - 横柄な振る舞い、下品で無礼あるいは不適切な態度・言動。
 - ラケットや身体でネットなどのコート施設を叩いたり、耳障りなかけ声や奇声を発するなどの不品行または不快な行動。
 - 一つのサイドによる警告後の同種の違反行為によるフォルトは(レフェリーが呼ばれ)執拗な違反とみなされ、失格となる場合が有ります。
6. 競技フロアでの携帯電話の使用は禁止します。電源を切るかマナーモードにしてください。
7. 本大会では、ラケットのハンドル(グリップ)の端から巻いているものが出ている物は、不品行としてマッチ(試合)での使用は認めません。

大会運営規程関係

8. 服装は(公財)日本バドミントン協会大会運営規程第23条によります。
9. 上着背面に登録団体名を入れることとし、同規程第24条を順守すること。
ただし、日本協会未登録の選手は申込団体名の背面としてください。
10. インターバルでない時のコーチングは、そのまま適用とします。

11. オーバールールを適用しようとする場合、主審は、線審が明らかに間違っていることが確信できた時のみ、オーバールールを適用してください。
12. 主審への質問は、当該プレーヤーのみとします。もし、判定に対して疑問がある場合には、次のサービスが為される前に「質問」することができます。
13. 表彰式には、第2位までの参加を義務付けることとします。ただし、特別の事情がある場合は考慮します。

公認審判員規程関係

14. コーチ席に入る者は、マッチ（試合）にふさわしい服装で入らなければならない。（長ズボン着用）また、コーチ席でのモバイル機器の使用は認められません。
15. 審判は敗者審判とします。審判業務の流れを、下記のとおりとします。
 - ①主審はゲーム終了後、勝者サインをもらい、**敗者と一緒に本部(競技役員長)へ**来てください。
 - ②敗者は、担当するスコアシートを進行から受け取ってください。
 - ③主審はそのまま本部前に残り、スコアシートのチェックを受けてください。
 - ④競技役員長から完了サインが記入され、これで審判業務終了です。

その他

16. 大会要項に記載のとおり、個人氏名並びに加盟団体名、入賞者写真については、大会結果等も含め、県協会ホームページに公開します。また、報道・メディア等の求めに応じて競技会場内での取材、写真撮影を認め、大会結果を提供します。